

2019年版 環境・社会報告書

ENVIRONMENTAL AND SOCIAL REPORT 2019

特集

海外拠点における 環境・社会貢献活動



FUTABA
フタバ産業株式会社

お問い合わせ先

総務部 CSR・環境課

〒444-8558 愛知県岡崎市橋目町字御茶屋1番地

TEL : 0564-31-2211 FAX : 0564-31-2220

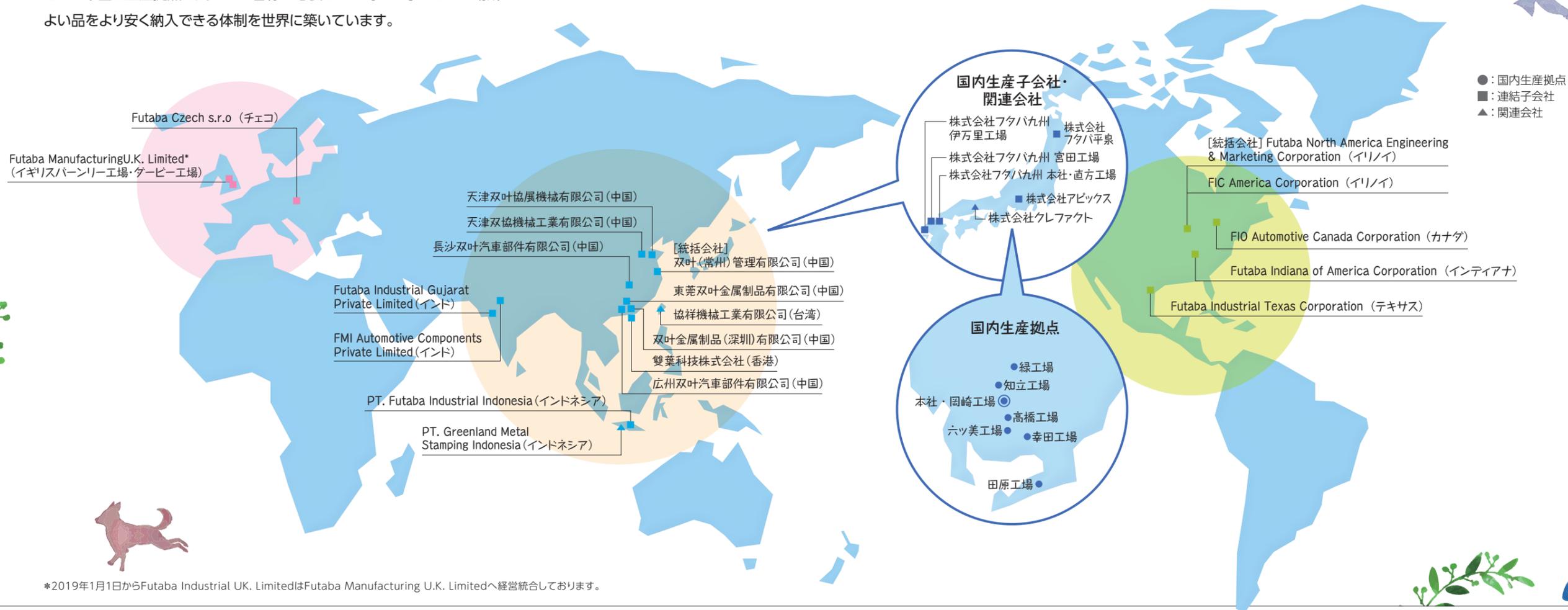
URL : <http://www.futabasangyo.com/>



この環境・社会報告書には、森林に配慮して適切に管理された森林認証用紙（FSC® 認証用紙）、有害な VOC（揮発性有機化合物）成分が含まれていない non VOC インキ、印刷時に浸し水を使用せず同じく VOC を大幅に低減する水なし印刷が採用されております。

フタバ産業の事業展開と編集方針

フタバ産業は国内拠点の充実とともに、海外では北米・欧州・東南アジア、そして中国と生産拠点を広げ、お客様の必要とする時に、求められる場所へ、よい品をより安く納入できる体制を世界に築いています。



*2019年1月1日からFutaba Industrial UK, LimitedはFutaba Manufacturing U.K. Limitedへ経営統合しております。

編集方針 (お読みいただく皆様へ)

「環境・社会報告書」は、フタバ産業の環境・社会分野における一年間の活動結果と今後の計画を社会との関わりに焦点を置き、ご紹介する年次報告書です。読者の皆様との大切なコミュニケーションツールとして発行しております。ご意見、ご提案やご質問などございましたら、裏表紙記載のお問い合わせ先電話番号までご連絡ください。

報告対象期間
2018年4月1日～2019年3月31日
※一部、対象期間外の取り組みも紹介しています。

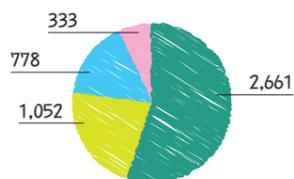
発行
2019年9月 (次回2020年9月予定)

報告対象範囲
フタバ産業株式会社
※環境報告データの対象範囲は、ISO14001を認証取得している国内7工場(岡崎、緑、知立、幸田、六ツ美、高橋、田原)となります。
※一部、グループ会社の活動も紹介しています。

会社概要

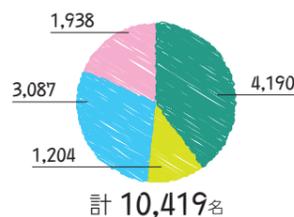
名称 フタバ産業株式会社
本社 愛知県岡崎市橋目町字御茶屋1番地
創立 1945年11月1日
資本金 168億円
事業内容 自動車等車両部品、情報環境機器部品、治具溶接機等の製造販売およびハウス栽培用CO₂貯留・供給装置の製造

地域別売上高(連結) (億円)
(2018年度)



※セグメント間取引消去を含まない

地域別従業員数(連結) (名)
(2019年3月末時点)



業績ハイライト



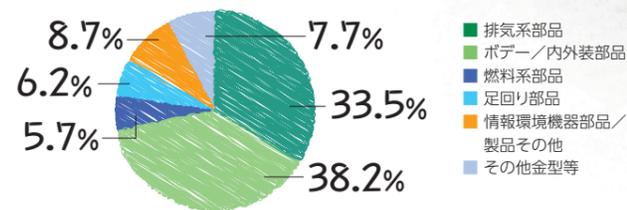
CONTENTS

フタバ産業の事業展開と編集方針	1	化学物質リスク低減	17
フタバ産業の事業フィールド	3	廃棄物削減と資源循環	18
トップメッセージ	5	水資源保護・生物多様性保全	18
特集 海外拠点における環境・社会貢献活動	7	工場・グループ会社の取り組み	19
経営理念・経営体制	9	社会性報告	19
フタバ産業の経営理念と戦略	9	お客様との関わり	28
コーポレート・ガバナンス	11	株主・投資家との関わり	29
環境報告	11	サプライヤーとの関わり	30
環境マネジメント	13	従業員との関わり	31
環境対応製品の開発	15	地域社会との関わり	33
地球温暖化防止への取り組み	16		

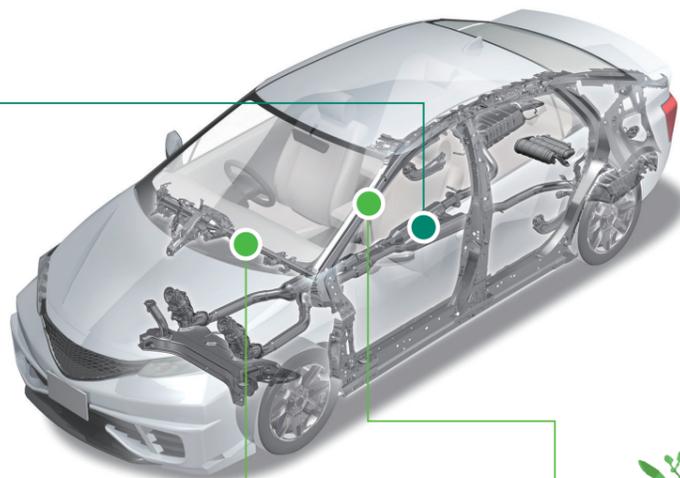
フタバ産業の事業フィールド

当社グループは、自動車等車両部品、情報環境機器部品およびその他金型・溶接設備等の製造販売を主要な事業内容としています。

製品別売上高比率



自動車等車両部品



排気系部品	内外装部品	ボデー骨格部品	足回り部品	燃料系部品
<ul style="list-style-type: none"> 排気系システム エキゾーストマニホールド ディーゼルパティキュレートフィルター (DPF※) POWEREV® (排気熱回収器) マフラー ディーゼル排ガス後処理装置 	<ul style="list-style-type: none"> インパネリインフォース ペダルアシ 	<ul style="list-style-type: none"> センターボデーピラー ルーフレール ロッカー フロントボデーピラー 	<ul style="list-style-type: none"> フロントサスペンションサブフレーム リヤアクスルビーム など 	<ul style="list-style-type: none"> フューエルタンク フューエルインレット キャニスター など
<ul style="list-style-type: none"> ●排気系システム ●エキゾーストマニホールド ●ディーゼル排ガス後処理装置 ●POWEREV® (パワレブ・排気熱回収器) ●ディーゼルパティキュレートフィルター (DPF※) など 	<ul style="list-style-type: none"> ●インパネリインフォース など 	<ul style="list-style-type: none"> ●フロントボデーピラー ●センターボデーピラー ●カウル など 		<ul style="list-style-type: none"> ●フューエルインレット ●フューエルタンク ●キャニスター など

※DPF: Diesel Particulate Filter

情報環境機器部品／製品その他

- 情報環境機器部品：複写機・複合機、プリンター、デジタル印刷機等の用紙搬送ユニットおよび精密部品、家庭用燃料電池コージェネレーションシステム関連ユニットおよび部品等
- その他：自動車メーカー向け組立溶接設備、金型、治具および各種省力化・合理化機器等

情報環境機器事業

自動車部品製造で培った高度なプレス技術と精密な組立技術により、カラー複合機などの部品をモジュール単位で開発から生産まで行っています。また、近年では家庭用燃料電池の構成部品などの開発・生産も行っています。

外販設備・金型事業

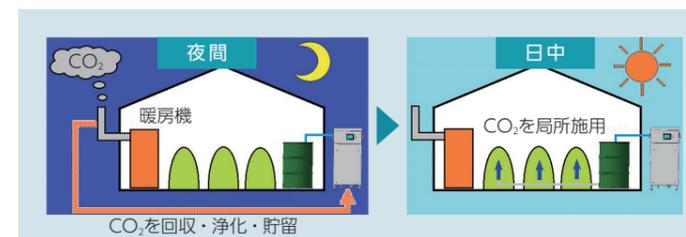
自社設備のメンテナンス性と生産性向上のための新技術・新工法の蓄積が、当社第3の事業に発展しています。製造現場の声を反映し、得意先のニーズを先取りした溶接組立設備や金型をつくっています。



農業分野

農業ハウス栽培用CO₂貯留・供給装置のラインナップを拡大

2019年8月、農業ハウス栽培用CO₂貯留・供給装置「agleaf (アグリーフ)」に300坪用までのハウスに対応可能な小型版 (写真) を追加販売しました。当システムは、夜間に燃焼式暖房機から出るCO₂を回収・浄化・貯留し、日中にそのCO₂を、植物の光合成促進のために再利用します。



▲農業ハウス栽培用CO₂貯留・供給装置「agleaf」

挑戦を続け、ものづくりをとおして、 未来の価値を提供する

フタバ産業のステークホルダー



お客様



株主・投資家



地域社会



サプライヤー



従業員



2018年度を振り返って

当社グループの主要取引先である自動車業界においては、北米で販売台数が微減となったほか、欧州・中国でも減少しました。国内市場では前年に比べ増加しています。こうした状況のなか、当社グループにおいては新5ヵ年計画に基づき、「安全、品質、ものづくり」の基本を徹底し、構造改革と原価マネジメントの強化により収益確保に努めました。その結果、売上高で前年を上回ったものの、利益面では新たに生産を開始した製品の生産準備費用の発生に加え、計画していた原価改善の遅れもあり、前年を下回ることとなりました。

2019年度は、生産体制の見直しを更に進めるとともに、生産効率の向上、原価改善の推進、サプライチェーンの見直しおよび物流費の低減などに一層取り組んでいきます。



「新5ヵ年計画」の進捗と成果

当社グループは、次なる成長ステージに挑むため、2016年度から「新5ヵ年計画」に取り組んでいます。ここでは将来にわたって成長性が

期待できる分野へのリソースの重点投入と、収益性が期待できない分野の見直しを通じて、企業としての継続的成長を目指しています。

3年目を迎えた2018年度は、「計画の確実な実施」と位置付け、業務の効率化と管理面の強化に力を注ぎました。主力商品の競争力向上で、ボデー系開発体制の強化、先行開発部門設立、シミュレーション解析人員の増強を実施。マネジメント改革で、生産現場管理業務のIT化、CO₂削減対応体制の整備、経年プレス機更新などを進めました。新技術・新事業の取り組みで、車体軽量化と安全性能向上に向け、超ハイテン冷間プレス部品とホットスタンプ部品の量産拡大を幸田工場、FIO（カナダ）で実施。生産拠点の最適化で、インド新会社が稼働をはじめました。

新5ヵ年計画の最終年度となる2020年度までに営業利益率で3.5%を目指しており、達成に向けて今後も様々な施策を講じていきます。



挑戦し続ける集団でありたい (従業員とともに)

フタバグループの共通の価値観・基本的行動原則である「FUTABA WAY」では、「知恵と改善」「人間重視」を2本柱に、自ら考え行動する

集団を目指し、果敢な挑戦を続けています。

当社グループが主力事業と位置づける自動車部品事業は、新興国を含む海外の生産台数が増えてきており、安全、品質、原価低減の要求がますます高度になっています。また、世界的な環境規制強化と燃費向上の要求の高まりを受け、自動車の軽量化が課題となっており、当社がコア技術と位置づける「プレス・曲げ・溶接」技術の進化と新しい材料への展開、活用がカギを握っています。

現在、当社グループは世界と日本で23の連結子会社を展開し、グローバルで人材育成と組織力の強化を図り、すべての従業員が当事者意識を持って業務を遂行できるよう、一人ひとりが学習し成長し、等しくチャンスが与えられる組織を目指しています。



ステークホルダーの皆様へ

自動車業界は、100年に1度の大変革の真っただ中にあります。CASE (Connected (接続性)、Autonomous (自動運転)、Shared (共有)、Electric (電動化)) の波がこれまでの自動車の概念を変えようとしています。

今、当社グループは、ものづくりの基本を徹底し、品質の確保に努めるとともに、更なる構造改革、ものづくり改革を進め、この大きな環境変化に対応しようとしています。そこでは当社グループが長年にわたって磨いてきたコア技術の研鑽に加え、新規分野への活用とオンライン技術の強化が欠かせぬものとなっています。

フタバの前身企業は、1935(昭和10)年に誕生し、自動車および航空機部品の製造販売で力を発揮してきました。戦後の1946(昭和21)年に生まれたフタバ産業株式会社は、そのDNAを糧に、以来73年にわたってわが国の基幹産業である自動車産業を支えてきました。まさに“挑戦と改革”こそが、原動力であり、これからも末永く愛される企業グループを目指してまいります。皆様の一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長
吉貴 寛良

特集

海外拠点における環境・社会貢献活動

Futaba Czech s.r.o チェコ

近隣小学校・高校・大学からの工場見学や工場実習、特別支援学校からの工場見学など、地域社会への貢献を最優先に考え、積極的に受け入れています。工場内での安全第一の考え方や、電気保全の専門知識の教育などを行っています。



Futaba Indiana of America Corporation 米国インディアナ

地域社会貢献活動の質を向上させるべく総務部を中心としたイベント委員会で活動しています。2018年は、日本企業としての文化を織り込んだ「FIA Open House-Japan Fest」を実施しました。家族友人と大切な時間を一緒に過ごす事が出来、自慢できる職場への発展に繋がり、地元社会にはFIAの紹介と身近に感じて頂ける良いチャンスを作り出す事が出来ました。2019年は環境改善要素を取り入れていきます。

FIC America Corporation 米国イリノイ

「なぜ環境保護が必要なのか?」、「そのために企業はどのようなことをしているのか?」、また、「FICおよびフタバグループの製品がどのように環境保護に役立っているのか?」という紹介を社員が高校を訪問し、行っています。来年度は、高校生と一緒に出来る環境活動を計画しています。



Futaba North America Engineering & Marketing Corporation 米国イリノイ

シカゴ日本商工会議所の会員となり、イベントの参加を通じて地域社会への貢献に努めています。最近では、シカゴ日本語学校で「世界につながる自動車産業の工夫」をテーマに、ゲストティーチャーとして招かれ、実際の製品を使ったりものづくりの動画を見てもらったりなど、教科書だけではわからない自動車産業の素晴らしさや自動車産業と世界とのつながりを伝えてきました。

Futaba Industrial Texas Corporation 米国テキサス

環境／社会貢献活動の一環として廃棄物削減とリサイクルを重点に取り組んでいます。2018年2月にサンアントニオ市の事業者向けリサイクル認証制度が開始され、全43,500事業体のうち57事業体が認証取得を受けました。当社はその中で「銀賞」を取得しています。この制度は2年毎に更新されるため次回は「金賞」を目指します。今後も本来業務と環境活動をリンクさせ、「環境にやさしい会社づくり」をしていきます。



FIO Automotive Canada Corporation カナダ

環境負荷低減活動として、「埋立ゴミのゼロ化」活動を進めています。2018年12月から活動をスタートしました。工場内にて、通常ゴミ（焼却ゴミ）、リサイクル、堆肥ゴミ（堆肥として利用可能なゴミ）のゴミ箱を色分けし、埋立ゴミがゼロとなるよう工夫しています。約5トンの温室効果ガス削減の効果が出ています。

PT. Futaba Industrial Indonesia インドネシア

インドネシアの交通事情は決して良いものではなく、従業員のほとんどが、バイク通勤です。そこで、自動車産業に従事する企業として、日本同様交通安全活動に取り組んでいます。2ヶ月に一度当社近隣で交通安全立哨活動を実施しています。通勤・退社時に当社従業員だけでなく、近隣の方々にも交通安全の呼びかけを実施しています。そのかいもあって近年、従業員の交通事故は減少傾向にあります。



Futaba Industrial Gujarat Private Limited インド

2018年7月からの生産開始と並行して、地域貢献活動として近隣地域で実施されている清掃活動への参加や、クリケット大会への協賛、地元住民の積極的雇用・通勤サポート等を実施しています。（写真はクリケット大会の様子）

FMI Automotive Components Private Limited インド

CSR活動の一環としてインド会社法に基づく過去3年間の最終利益平均の2%を社会貢献活動に提供しています。毎年社内CSR委員会で何に使うかを協議し昨年は近隣小学校に教室2部屋を寄贈しました。今年はRMNRF（首相国民救援基金）というインド国内での自然災害や疾病等の被災者の救済・救援に使用される基金に寄付をしました。今後も色々な活動を通じ、地域社会に貢献していきます。



長沙双叶汽車部件有限公司 中国

交通警察官を講師に招いた「交通安全教室」を実施しており、従業員だけでなく、従業員の家族（特に高齢者）や友人・知人等も参加できる様にしています。急速にモータリゼーションが発展している中国では、「交通規則を学ぶ機会が少ない」ことが交通違反・交通事故に繋がっていると思われます。当社の活動は、地域の方々に「交通規則を学ぶ機会」を作ることも目的としており、「交通マナー向上」「交通事故低減」に繋がることを期待しています。

天津双叶協展機械有限公司 中国

環境汚染低減・省エネ排ガス削減を前提とした環境保護に努めています。プラスチックごみは環境悪化の要因の1つであり、社会問題になっています。2019年3月3日、現地幹部と組合委員は休日を利用して、スーパーマーケットの広場でお客さんを対象に無料エコバッグを配布し、宣伝活動を実施しました。皆さんに「ポリ袋使用量を低減し、プラスチックごみを削減する」ということを提唱しました。その他にも、社員の子供達による環境保護スピーチを実施しました。



天津双協機械工業有限公司 中国

中国では、毎年3月12日が植樹節とされており、当社では緑化／環境向上活動推進の一環として毎年「植樹祭」という名称で実施しています。天津は空気が非常に悪いと言われていますが、環境への負荷低減、社会貢献活動として、今後も継続して実施していきます。

フタバ産業の経営理念と戦略



ステークホルダーの皆様に信頼される会社であり続けたいという思いを、「社是」「経営理念」に刻み、事業活動を行っています。

社是 …… よい品、より安く

私たちは、

- 経営理念 ……
1. お客様に信頼され、なくてはならない会社
 2. 共に働く仲間が、生きがいと誇りを持つ会社
 3. 地域社会から広く支持され、愛される会社

であるよう、たゆまぬ努力を続けます。

企業憲章

1. 法令および社会規範等の遵守 P12

私たちは、国内外の関係法令、社会規範、社内規程を遵守し、高い倫理観を持って企業活動を行い、社会的責任を果たします。

2. 社会への貢献 P13 P33

私たちは、国内外の文化・習慣を尊重し、環境保全に努め、地域とともに成長し、地域に喜ばれる企業となります。

3. 企業の存在意義 P28

私たちは、最先端技術の研究と開発に努め、製品・サービスをお客様に満足していただける品質・コストで、全世界に提供します。

4. よりよいコミュニケーションと企業風土の醸成 P31

私たちは、社内外、職位を問わず様々な人の意見を真摯に受け止め、自由な発想で、活発に意見を表明できる、明るく活力のある企業風土を作ります。

5. 従業員の尊重 P31

私たちは、従業員の人格、個性を尊重し、安全で働きやすい環境を確保するとともに、従業員のゆとりと豊かさの実現に努めます。

6. 適切な情報開示 P29

私たちは、企業情報を適切に開示し、企業の透明性と健全性を向上させます。

7. 社会との調和 P33

私たちは、良き企業市民として社会と調和し、社会秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力には断固対決します。

8. 取引先・関係会社等と共に成長・発展 P30

私たちは、常にグローバルな視野で革新的な経営を行い、取引先・関係会社等様々なステークホルダーと共に成長・発展に努力します。

フタバ行動指針

第1章 会社との関係におけるわたしたちの行動

1. 明るい健全な職場づくり
2. 資産保全と機密の管理

第2章 会社の活動におけるわたしたちの行動

3. 環境保護活動
4. 営業・調達活動
5. お客様から信頼されるものづくり
6. 世界から信頼される企業を目指して

第3章 社会との関係におけるわたしたちの行動

7. 社会とのオープンで公正なコミュニケーション
8. 社会から信頼される企業市民に
9. 健全な市民として
10. 思いやりのあるドライバーとして



新5ヵ年計画の進捗

新5ヵ年計画も今年度で4年目を迎え、引き続き新5ヵ年計画の方針に取り組んでいきますが、近年の取り巻く環境から見えてきた課題にも対応していきます。

取り巻く環境

海外市場での自動車販売台数の増加

電動車の普及加速

CASE^(※)対応によるバリューチェーンの上流へのシフト

(※) CASEとは … Connected (接続性)、Autonomous (自動運転)、Shared (共有)、Electric (電動化) の頭文字をとった造語

取り巻く環境から見えてきた課題

● 更なる強化が必要な取り組み

① グローバル経営体制の構築強化

ものづくり改革

マネジメント改革

② 電動化に対応した商品開発強化

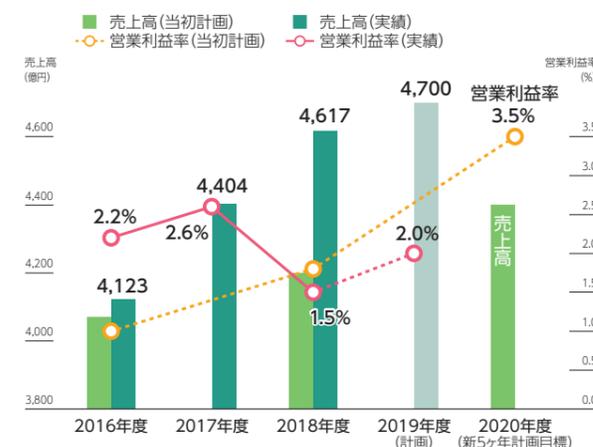
電動車へ向けた開発強化

● 成長に向けた新たな取り組み

③ 高付加価値領域のビジネスモデルへのシフト

ボデー商品の新たなビジネスモデル

売上高と営業利益率(連結)



今後の方向性

2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
-------	-------	-------	-------	-------

新5ヵ年計画

当初 将来に向けた成長戦略
効率化、管理面強化

今後 将来に向けた成長戦略
取り巻く環境を踏まえた課題対応
効率化、管理面強化
経営・収益基盤の足元固め

今までの効率化、管理面強化を最重点とした取り組みから、既に始めている将来の成長に向けた取り組みに軸足を移していきます。

コーポレート・ガバナンス

当社は、コーポレート・ガバナンスの目的を「健全で強い企業を作るため、企業内外の多様なステークホルダーの視点から経営の適正化を図ること」と捉えています。そのために法令や社会的規範を遵守した事業活動の実施と、経営の透明性の向上を推進しています。



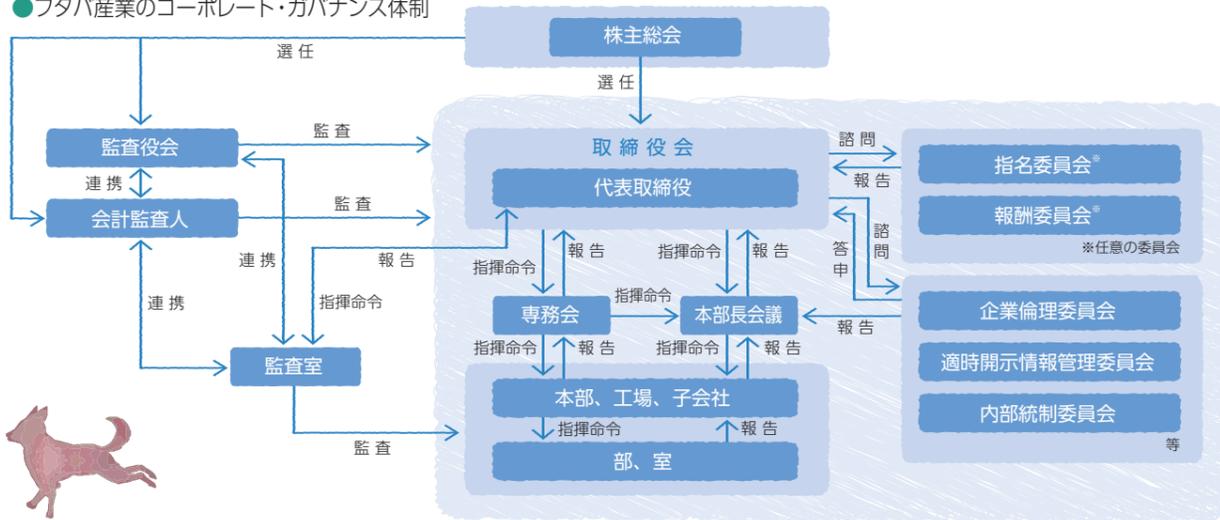
① (社外)監査役	鈴木 人史	⑤ (社外)取締役	市川 昌好	⑨ 取締役専務執行役員	吉田 隆行
② (社外)監査役	磯部 利行	⑥ (社外)取締役	宮島 元子	⑩ 取締役専務執行役員	岩月 幹雄
③ 代表取締役社長	吉貴 寛良	⑦ 常勤監査役	中島 明	⑪ 取締役専務執行役員	高橋 友寛
④ (社外)取締役	堀江 正樹	⑧ (社外)監査役	板倉 龍介	⑫ 取締役専務執行役員	大橋 二三夫

ガバナンス

業務執行等の最高決定機関である取締役会は、法定事項および重要事項の討議、経営戦略の決定、業務執行の監督を行っています。業務執行にあたっては、取締役会上市事項とその他重要事項や個別案件を協議するために、本部長

会議を開催しています。また、特に会社の方向性および経営に関する極めて重要な議案について審議・決議するために専務会を開催し、的確かつ迅速な経営判断ができる体制を構築しています。

●フタバ産業のコーポレート・ガバナンス体制



内部統制

内部統制基本方針

当社の内部統制に対する基本的な姿勢は、業務を適正に遂行するため、取締役自らが率先垂範して法令および企業倫理を遵守し、その言動を通じて社員への浸透を図ること

です。また、業務の執行に際しては、問題発見と改善の仕組みを業務執行プロセスに組み込むとともに、それを実践する人材育成と組織づくりに取り組んでいます。

内部統制に関わる社内体制

1. 取締役の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するための体制
2. 取締役の職務の執行に係る情報の保存および管理に関する体制
3. 損失の危険の管理に関する規程その他の体制
4. 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制
5. 使用人の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するための体制
6. 企業集団における業務の適正を確保するための体制
7. 監査役がその職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合における当該使用人に関する事項
8. 前号の使用人の取締役からの独立性に関する事項
9. 取締役および使用人、子会社の取締役等が監査役に報告するための体制その他の監査役への報告に関する体制
10. その他監査役が監査が実効的に行われることを確保するための体制

コンプライアンス

当社におけるコンプライアンスとは、「法令遵守はもとより、社会の構成員たる企業人として求められる価値観・倫理観をもって誠実に行動すること。それを通して公正かつ適切な経営を実現し、市民社会との調和を図り、企業を創造的に発展させていくこと。環境問題を重視し、自らが行動を起こし、環境の保全に努めること。」と定めます。

当社は、企業の社会的責任と公共的使命を自覚し、高い倫理観を持って企業活動を行い、社会的責任を果たします。また、国内外の文化・習慣を尊重し、環境保全に努め、地域とともに成長し、地域に喜ばれる企業であるよう様々な活動を展開していきます。

啓発活動

コンプライアンス教育ならびに業務に関連する法規についての教育を、担当者、職制（班長など）、部課長に対し実施しています。また機密管理に関する教育を全社員に実施しています。

ヘルプラインの設置

コンプライアンスに関わる様々な問題・疑問点について、適切な相談ができるよう社内・社外に「フタバヘルプライン」を設置しています。

リスクマネジメント

当社では、組織目標の達成を阻害する要因、あるいは事業の継続に影響を与えうる要因をリスクとして識別し、分析、評価、対応を行うPDCAサイクルを回すため、各種委員会を立上げています。例えば、情報漏えいリスクには機密管理委員会、品質問題には重要品質問題再発防止委員会、不正リスクには企業倫理委員会、内部統制やガバナンスには内部統制委員会などによりリスクアセスメントを行い、リスクの低減や回避などの適切な措置を図っています。

事業継続計画（BCP）

当社では、震災リスクに注目し、人命第一をベースとした一刻も早い復旧に向けたBCP活動に取り組んでいます。緊急地震速報や安否確認システムの導入、避難経路の安全確保や設備の転倒・落下防止対策など、防災・減災の取り組みとともに、有事に力を発揮できる要員確保に向けた人材教育や、想定被害からの早期復旧に向けた事業継続計画（BCP）を策定しました。また岡崎市との間で災害時の施設協力の協定を締結しました。

情報セキュリティ

当社では、機密情報の保護・管理のため、フタバセキュリティガイドラインを策定し、従業員への機密管理意識の徹底を図っています。

環境マネジメント

当社は、「環境保全は、事業活動の根幹である」との認識に基づき、全従業員をあげて、環境負荷低減活動に取り組んでいます。

担当役員のメッセージ



トップマネジメント
岩月 幹雄

フタバ産業は持続可能な社会の実現に向けて、事業活動と環境との調和を目指し、全員参加で環境保全活動に取り組んでいます。

私たちは、環境に関わる法令および社内規定・基準の遵守はもとより、持続可能な社会の実現に貢献できるよう、環境にやさしい環境対応商品の提供、地球温暖化防止、化学物質リスク低減、騒音低減、廃棄物削減と資源循環、水資源保護・生物多様性保全に積極的に取り組んでいます。

特に生産における環境負荷低減では、7つの工場が共通の環境マネジメントシステムのもと、連携した活動を通して、それぞれが「いいとこ取り」をし合うことで、一つのチームとして最大の効果を効率的に生み出しています。

またCO₂排出量低減につきましても、企業の社会的責任と捉え、チャレンジ目標を掲げ、省エネ設備・機器への置き換え等の諸施策を計画的に推進しています。引き続き、地域の皆様とのコミュニケーションを大切に、従業員一丸となって環境保全活動に取り組んでいきます。

環境方針(抜粋)

環境理念 2010年11月1日改訂

7工場（自動車部品の生産、情報環境機器部品の生産、外販用設備・金型の製作）は、環境保全を地球規模の重要課題との認識に基づき、環境経営を事業活動の根幹にして地球環境の保全に積極的に寄与する。
このため、環境マネジメントシステムを事業活動の重要基盤の一つと定め、事業活動により環境に影響を与える項目に関して継続的改善を実施し、地域社会との調和を図る。

環境マネジメントシステム

公害防止、廃棄物、省エネ、資源保護の4つの分科会を主体として、全工場横断的な改善活動に取り組んでいます。その成果として、各工場の環境が高いレベルを維持できるようになってきました。今後も環境マネジメントシステムを活用し、継続的な改善に取り組み、更なる向上に努めていきます。

環境教育

内部監査員の教育に関しては、社外講師を招き、より実践的な内容を盛り込むことで、内部監査のレベルアップを図っています。また、新入社員や新職制に対する階層別の教育は、社内で随時行っています。

環境関連法規制遵守状況

ISO14001の活動の一環で、公害防止分科会が主体となり、条例よりも厳しい自主基準を設け、遵守状況を定期的に確認しています。工場排水の水質基準に関しては、工場内の浄化槽や排水系統の管理体制を整備し、水質悪化傾向を把握することで、基準値逸脱の未然防止を図っています。

2018年度は基準値の逸脱はありませんでした。



環境苦情と対応状況

法令や協定の基準値を遵守する事だけで満足せずに、地域社会から広く支持され愛される会社であるよう近隣でお住まいの皆様生活に配慮し、さらに厳しい自主基準値を設定し騒音レベルの低減に取り組んでいます。

2018年度は、夜間作業時の騒音測定監視・生産品目の選定・スクラップ回収BOXの騒音低減等を実施しました。

事業活動における投入資源と排出物

事業活動に必要なエネルギー等の投入量およびCO₂や廃棄物の排出量の全容を把握し、環境負荷物質の削減に取り組んでいます。



環境対応製品の開発



持続可能な（サステナブル）社会のため環境変化やニーズを先取りした環境対応製品の開発に取り組んでいます。

開発方針

1. 排気系製品は排気騒音の低減、排出ガスのクリーン化などの規制強化への対応に加え燃費向上に寄与できる技術開発を推進します。
2. ボデー系製品は衝突安全性に加え燃費向上に寄与できる軽量化を、ホットスタンプ部品や冷間超ハイテン部品の開発により推進します。
3. 省エネルギー、CO₂排出量削減を達成する為に、排気熱回収器（POWEREV®）などヒートマネジメントシステムや電動化製品の開発を推進します。

環境対応製品紹介(新製品紹介)

ダイハツ向け排気管：板厚0.8mmの薄板材採用（軽量化）

排気管は、自動車のエンジンで発生する排気騒音を低減したり、エンジン燃焼ガスを効率よく排出することで動力性能を向上させたりと、商品性に大きく影響する部品のひとつです。自動車の燃費性能向上ニーズは日々高まっており、排気管構成部品（パイプ、マフラ）の板厚に従来よりも薄いt0.8mmを採用し、従来品から20%軽量化することで燃費向上に大きく貢献しています。



▲EDP2排気管

開発担当者の声

排気系開発部 排気管設計2課

梅本 博 (左) 横山 弘明 (右)

排気管に薄板材を採用するにあたり、薄い板同士の溶接品質を満足させる必要がありました。その為には、さまざまな課題がありましたが、関係部署と連携し製品の構造や溶接基準の取り方などを協議して課題を克服し、軽量化を実現することができました。今後も、軽量化による燃費改善に貢献できるよう、開発を推進していきたいと思っております。

中国法規対応キャニスター

キャニスターとは燃料タンクから出るガソリン蒸気を吸着し、クリーンな空気のみを車外に出す環境に貢献する製品です。中国の規制が北米並みに厳しくなり、キャニスターも大型化、複雑化することが大きな課題となりました。当社はこの規制強化に対応する為、吸着剤の性能のみに頼らず、二層構造という構造の開発を行い、低コストで性能を達成する事ができ、トヨタ自動車様の中国生産のYARISとVIOSに採用されました。



▲キャニスター

開発担当者の声

車両機能系開発部 車体系機能部品開発課
性能保証部 性能試験課

開発初期は狙った性能が達成できず、また通気抵抗が大きいといった課題がありましたが、設計と評価部署が一丸となり、改良を進める中で、仮説と検証を繰り返すことにより、苦労しながらも性能と通気抵抗を両立する仕様を確立しました。今後も、私たちの開発品を通じて地球環境に貢献していきたいと思っております。



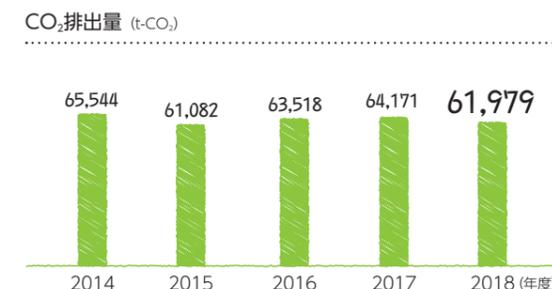
地球温暖化防止への取り組み



省エネ法を遵守し、工場の設備や物流における省エネ活動に積極的に取り組み、地球温暖化防止に努めます。

CO₂排出量の削減

2018年度は、変圧器およびコンプレッサの更新、天井照明のLED化、空調機用冷温水配管の断熱改修等を実施しました。2013年度（基準年度）比では10.2%の削減となりました。



省エネ分科会

当社の環境マネジメントシステムにおいて、省エネ活動の推進を担っています。目標達成計画に対し、毎月進捗状況を確認することで、計画遅滞した場合のリカバリーが、迅速に行える体制になっています。

当分科会では、各工場毎のエネルギー使用実績を把握し、省エネ法の定める年1%以上のエネルギー原単位の削減に取り組んでいます。

物流におけるCO₂排出量の削減

客先の要望により、三河から九州への製品輸送量が増えたため、前年度比24.6%の増加となりました。



化学物質リスク低減

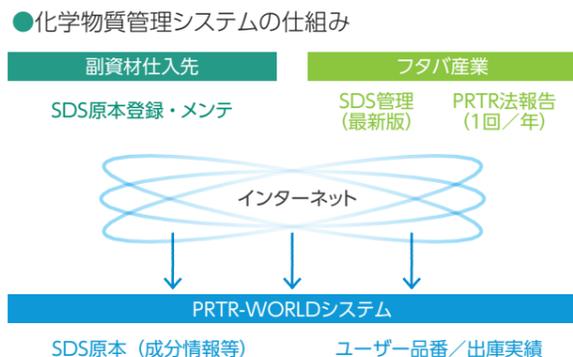


化学物質に関する各種規制に対応し、人の健康や生態系に有害となるおそれのある化学物質の使用量、移動量、排出量を管理しています。

化学物質管理体制

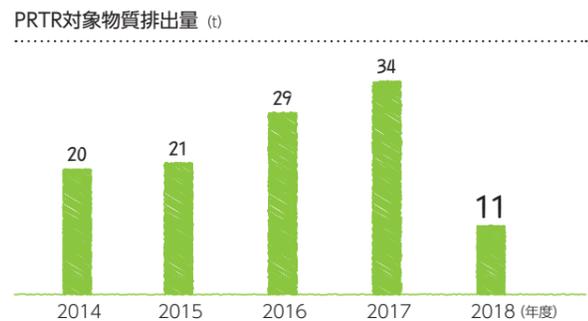
対象物質の使用量・移動量・排出量は、エコ・リサーチ社の化学物質管理システム（PRTR-WORLD）を活用し、副資材（燃料・塗料・接着剤など）の購入量より算出しています。

PRTRとは …
Pollutant Release and Transfer Register（化学物質排出移動量届出制度）の略で、有害性が疑われる化学物質の排出量や移動量を把握し、届け出る制度。



化学物質削減の取り組み

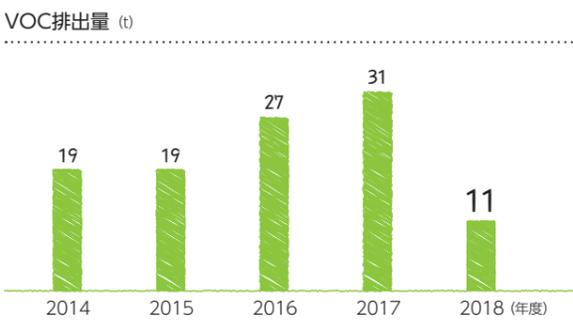
構内リフトのバッテリー式への更新を進めたことにより、ガソリンの使用量が減り、66.3%の大幅削減となりました。



VOC (揮発性有機化合物) 排出量削減

構内リフトのバッテリー式への更新を進めたことにより、ガソリンの使用量が減り、64%の大幅削減となりました。

VOCとは …
Volatile Organic Compounds（揮発性有機化合物）の略で、光化学オキシダントなどを引き起こし健康被害の原因となる有害物質。



廃棄物削減と資源循環



限りある資源を有効に活用するために、環境マネジメントシステムの分科会（資源保護、廃棄物）を主体として3R（Reduce, Reuse, Recycle）に取り組んでいます。

産業廃棄物排出量削減

当社は、産業廃棄物量の削減と埋立廃棄物を削減する取り組みを推進しています。廃油やプラスチック、汚泥などの再資源化を進めています。



▲リサイクルされる当社の廃棄物

当社は、産業廃棄物排出量を削減する取り組みを推進しています。2018年度は、前年度に比べ4.7%減少しました。



水資源保護・生物多様性保全

あらゆる生物の源である水資源の保護と、地元の人工林を本来の生態系に近づける生物多様性の保全に取り組んでいます。

水資源保護

当社では、設備の冷却、製品の洗浄や気密性検査等で工業用水と地下水を使用していますが、各所に循環系統を構築し水資源の再利用に努めています。工場からの排水については、法規制よりも厳しい自主基準値で管理し、敷地内の浄化槽・排水処理施設での処理を経て公共水域へ放流しています。排水量につきましては流量計で把握しています。



生物多様性保全の取り組み

当社は2011年より岡崎市の市有林を借用し「森づくり活動」に取り組んでいます。年2回10名ほどのスタッフで、下草刈り、落葉かき、間伐、クヌギの育成などを実施しています。家族向けのイベントとして、7月は「ちびっ子虫捕り」、12月は「木工工作教室」を行い、多くの従業員家族に楽しんでもらっています。



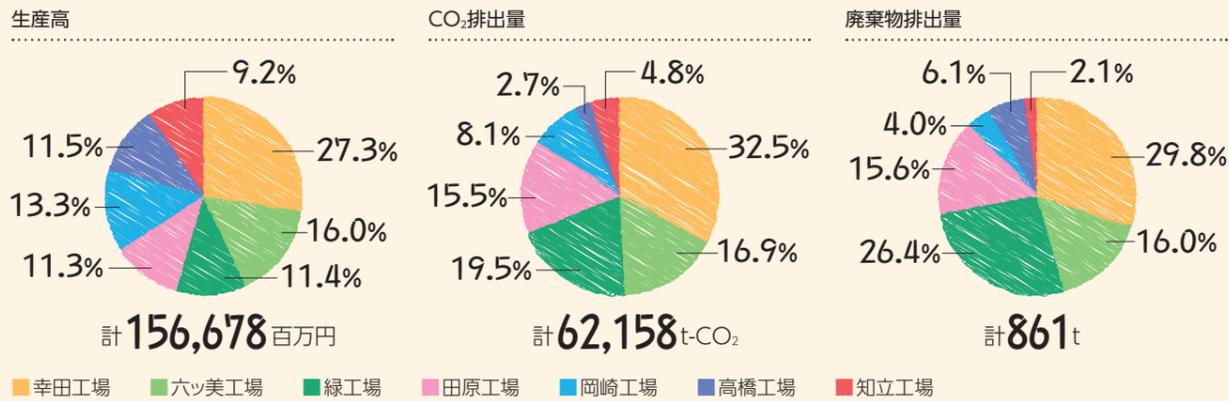
▲ちびっ子虫捕り



工場・グループ会社の取り組み

当社の工場では、環境の保全が最重要課題の一つであることを認識し、事業活動のあらゆる面でその維持に配慮した活動を行っています。また地域社会との積極的なコミュニケーションを図り、地域と密着した環境保護活動、社会活動に取り組み地域の皆様に貢献しています。

工場の取り組み



岡崎工場



住所：愛知県岡崎市橋目町 宇御茶屋1番地
生産品目：カウル、サイドフレーム、センターピラー、センターマフラー、メインマフラー



工場長 山田 義人

岡崎工場では、本来業務である「生産活動」をとおりして省資源活動（材料使用量削減）および省エネ活動（生産設備の稼働効率化）等に取り組んでいます。また、「地域社会貢献活動」の一環として、交通立滞による

学童の通学における安全確保や、工場周辺の清掃による環境美化等にも積極的に参加しています。今後も、永続的に環境に優しいものづくりを推進し、地域社会との共存を図っていきます。

環境活動・社会貢献活動

- 当工場では、「材料歩留り向上活動」を地道に推進した結果、生産に必要な鋼材の使用量を2016年度を基準として年間1,300t削減しました。また、老朽化した生産設備を効率の良い設備に置き換え、職場環境の整備とあわせて照明のLED化や空調機の更新を推進したことにより、電気使用量を年間549,148kwh削減しました。これらの活動を計画的に推進し、地域の環境保護に努めていきます。
- 近隣住民の皆様への騒音被害の未然防止として、敷地境界での音圧レベルに自主基準値を設け、定期的な測定による管理を徹底しています。さらに防音壁の設置を計画的に進めており、今年度は工場南敷地境界の防音壁の延長工事を実施しました。今後も、地域の皆様と定期的なコミュニケーションを取りながら進めていきます。



▲食堂棟の照明をLED化



▲工場南敷地境界の防音壁を延長

環境負荷情報



緑工場

住所：愛知県豊田市緑ヶ丘 6丁目1番地
生産品目：サスペンションメンバー、リアアクスルビーム、フューエルインレットパイプ、インパネリインフォース、エキゾーストマニホールド、EGRパイプ



工場長 露口 健二

クルマのまち豊田市にある当工場では、インパネリインフォース、サスペンション等の自動車部品を、プレス成型→溶接組立→塗装まで一貫生産しています。生産性向上活動、工程内不良廃却品低減活動、

物流ロス低減活動等の本業である生産効率の改善を追求する事により、同時に省エネの推進・CO₂削減・環境負荷低減を図り、地球環境にやさしいものづくりを進めています。

環境活動・社会貢献活動

- 当工場では、2013年度よりガソリンフォークリフトから電動フォークリフトへの変更を推進しており、2018年度にて当初27台あったガソリンフォークリフト全ての変更が完了しました。これにより、ガソリン使用量を約160KL/年削減することができ、CO₂排出量としては約300t-CO₂/年の削減を行うことができました。
- 豊田市環境保全課と近隣企業と合同で、とよた産業フェスタに出展し、工場排水で育てたメダカによるメダカすくいコーナーを催しました。工場から排出する水は、法令等で定められた厳しい水質基準を満たさなければなりません。水質に敏感なメダカを工場排水で育てることにより、水質の監視機能を果たすとともに地域との交流にも繋がっています。また、今年度は当工場が所在する東田自治区の寿神社秋祭りにも初めて参加し、屋台を出店させていただきました。700本のウイナーが完売し、地域の方にご好評いただくとともに良いコミュニケーションの機会となりました。



◀電動フォークリフトへの変更完了



▲地元 寿神社秋祭り屋台出店

環境負荷情報



工場・グループ会社の取り組み



知立工場

住所：愛知県知立市逢妻町道瀬山110
 生産品目：フェンダーシールド、カウル、ボデーピラー



工場長 露口 健二

当事業所は、主に自動車用ボデー部品を生産しています。「地域に貢献する企業」を工場方針に掲げ、交通立哨等の交通安全活動や地域社会とのコミュニケーション活動に積極的に参画し、交流を図っております。また、環境負荷を低減させるため、生産設備集約による使用エネルギーの低減

や廃棄物排出量の削減等の活動も継続的に進めています。さらに、当工場は住宅と隣接していることから、騒音対策にも力を入れています。今後も、働きやすく、働き甲斐のある会社を目指すと共に、地域社会から愛される会社となる様、努力していきます。

環境活動・社会貢献活動

●省エネ活動では、本来業務である生産活動の改善により省エネを行っており、電力使用量も着実に低減され、2018年度は目標を達成することが出来ました。今年度も、照明のLED化、省エネ機器導入等を企画し、更なる省エネに努めていきます。また、騒音対策についても、夜間騒音の低減に着目し、騒音発生源の評価と対策、敷地境界線での音圧の自主測定を継続します。また、安全性向上のため、工場外壁の補修を計画しています。

●毎月ゼロの日や交通安全県民運動期間には、交通立哨を行うと共に、工場周辺の清掃を行っています。また、2018年は毎年フタバ知立製フランクフルトが大好評の地域の夏祭りは、台風で中止になりましたが、地域の防災行事である、「守りんピック」に参加しました。地域の方と一緒に防災体験をすることにより、良いコミュニケーションの機会となりました。



▲棟内LED化



▲高効率モーター



▲守りんピック



▲工場周辺美化活動

環境負荷情報



幸田工場

住所：愛知県額田郡幸田町大字長嶺字柳沢1-1
 生産品目：マフラー、エキゾーストマニホールド等排気系システム、ボデー部品



工場長 金本 傳夫

幸田工場は、敷地内に研究開発部門を併設するフタバ最大の事業所で、ホットスタンプなどの最新の生産設備を有しています。当工場では、2016年度からの新5ヶ年計画の取り組みの中で、排気・機能系部品に関して、原価企画、開発、生産技術、製造が同じ事業所に在籍して連携を強め、収益構造の

強化を図っています。また、地域の皆様との繋がりを大切にしており、工場見学やグラウンドゴルフ大会などのイベント、工場周辺美化活動などを通じて、皆様から愛される事業所であるよう努力しています。

環境活動・社会貢献活動

●隣接する岡崎市と幸田町の両地域住民の皆様との交流を深めるため、毎年グラウンドゴルフ・BBQ大会を開催しています。このイベントには、総勢200名ほどの皆様にご参加いただいています。工場長をはじめとした当社従業員と地域の皆様が会話することができ、当社の活動をご理解いただく、とてもいい機会となっています。

●主力工場として、ステークホルダーの皆様へ製品・現場紹介や事業活動の紹介など、社外に向けてフタバの魅力を発信するため、工場見学を積極的に受け入れています。年間を通して、社外の方が工場内に立ち入るため、職場は良い緊張感を持って働いています。また、工場内に併設する「ものづくり研修センター」で実施される「安全体感施設」の見学は、普段の生活の中にも危険なことがあると認識できるため、皆様からご好評をいただいています。今後とも、皆様から愛される事業所であるため、努力を続けていきます。



▲グラウンドゴルフ・BBQ大会



▲マフラーラインの紹介

環境負荷情報



工場・グループ会社の取り組み



六ツ美工場

住所：愛知県岡崎市在家町
字向田38番地

生産品目：・事務機・情報環境機器
排気熱回収器、燃料電池関連部品
・自動車部品
ボデー部品、シャーシ部品



工場長
池田 健一

当工場は、自動車ボデー部品および情報環境機器部品を生産しています。ボデー部品では超ハイテン材の加工による車体重量の軽量化、情報環境機器部品ではコピー機の給紙装置の生産、環境対応商品の生産等で、環境に優しいものづくりを行っています。2015年より他工場に先駆けホットスタンプライン（加熱した鋼板を成形後に急速冷却して強度を高める加工法）が2ライン稼働しています。このホットスタンプ

ラインは強度向上と車体軽量化の実現に向けてチャレンジを続けていたラインです。また、生産ラインへの省エネ設備の導入や生産納入プロセスの改善を図り、環境に優しいものづくりを通して地球温暖化防止に努めるとともに、環境保護活動に取り組んでいきます。地域の方にも愛される企業となるよう、交通安全立哨活動、工場見学の受け入れ等、積極的に対応をしています。

環境活動・社会貢献活動

- 地域社会への貢献を大切に考え、近隣小学校・地元高校の工場見学受け入れ、特別支援学校生徒の工場見学・工場実習を積極的に受け入れています。また、交通量の多い工場東西の交差点にて、地域の小学生・中学生の通学路の安全確保の為、ゼロの日および交通安全県民運動期間中に交通安全立哨活動を実施しています。
- CO₂排出量の削減に向けた活動の一環として省エネ活動を推進しています。2018年度は2016年度比2%削減（毎年1%削減）を目標とし、各部署にて省エネアイテムを立案し実施しました。主な改善アイテムとしては、冷却水ポンプや排気ファンのインバータ化や各種照明のLED化、高効率変圧器への更新、一部空調の更新による燃料の重油からクリーンな電気への変更等を実施しました。また省エネパトロールを毎月実施し、省エネ意識の向上に努めています。



▲立哨活動



▲工場見学の様子

環境負荷情報



高橋工場

住所：愛知県岡崎市高橋町字
一三 24番地

生産品目：金型、溶接組付設備製作
およびファインブランキング生産



工場長
稲垣 卓久

当工場は、フタバ産業が国内及び海外で部品を生産する金型や設備の準備を行う、フタバの成形・接合技術の中心です。当工場から生み出す金型や設備は、製品の軽量化や素材の最小化など効率的な製品形状提案から、金型や設備の省エネ、生産工程の簡素化、製品品質の短期実現など、計画から生産まで

のライフサイクルでの効率最大化を行い、当工場のみならずグローバルな環境保全に貢献しています。また、工場周辺美化や交通安全対策、ボランティア活動など、地域貢献活動にも積極的に取り組んでいます。

環境活動・社会貢献活動

- 当工場は毎月、『交通事故死ゼロの日』や『交通安全県民運動』の期間中、工場周辺の地域児童の通学路、信号のない交差点で交通立哨を実施し、従業員、地域住民の方への交通安全意識向上に寄与させて頂いています。また社内で“キレイキレイ分科会”を立ち上げ、構内・工場周辺の一斉清掃を年4回実施するなど、地域社会への貢献を第一に考えています。
- 省エネ活動として、電力使用量の前年度比1%削減を目標に取り組んでいます。2018年度は主に、空調機の更新、第1工場の天井LED化を進め、電力使用量260.8kwh/月、CO₂排出量1545.9t-CO₂/月を削減し、年度目標を達成しました。今年度も事務棟のLED化、高効率変圧器更新の省エネ対策を企画しCO₂排出量削減に努めていきます。



▲工場天井照明LED化



▲工場周辺の交通立哨



▲キレイキレイ活動

環境負荷情報



工場・グループ会社の取り組み



田原工場

住所：愛知県田原市緑が浜1号5番

生産品目：マフラー、エキゾーストマニホールド等排気システム、カウル、ビーム、インパネリインフォース



工場長
中村 嘉伸

愛知県田原市にある当工場は、主に自動車用排気部品、ボデー部品、足回り部品を生産しています。敷地は三河湾に面しており、自然豊かな環境に有ります。その為、油流出、排水処理の不具合など水質事故を起こさないよう、未然防止の強化を図っています。

また従業員一人ひとりが常に環境負荷低減を意識し、エネルギー使用量削減など力を入れ活動を行っています。東三河における当社唯一の拠点として、地域社会に貢献すべく、色々な環境活動に今後も積極的に参加していきたいと思っております。

環境活動・社会貢献活動

- 社会貢献活動の一環として、毎月交通事故発生ゼロの日立哨活動や市内での交通安全立哨、工場周辺の美化活動を行っています。また、今年も臨海企業と合同で『田原を美しくする推進デー』に参加し、工場周辺の産業道路のゴミ拾い活動を行いました。活動を通して、地域社会に貢献していきたいと考えています。
- 省エネ活動としてプレスメインモーターのインバーター化、高効率機器導入LED照明化、トッランナー変圧器への更新により、CO₂排出量を12.25t-CO₂/月を削減する事ができました。また、毎年夏季に開催されるたはらエコ・ガーデンシティ地域協議会主催（田原市共催）の田原市ライトダウンキャンペーンと冬季に行われるライトダウンキャンペーンへ積極的に参加しています。今年もCO₂削減の改善に取り組むとともに、田原市の主催するイベントへ積極的に参加していきます。



▲交通立哨



▲メインモーターインバーター化

環境負荷情報



グループ会社



株式会社フタバ九州

住所：福岡県直方市大字中泉1181番地6（本社・直方工場）

生産品目：マフラー、ピラー、カウル、インパネ、インレットパイプ、ペダル、ビーム



代表取締役社長
川渕 健夫

当社は、フタバグループの九州の拠点として3工場を有し、環境経営を事業活動の根幹として環境保全に努めることとし、環境関連法令等の遵守、資源の有効利用と削減等を方針に掲げ活動を行っています。主にCO₂、産業廃棄物排出量、不良廃却品排

出量の低減に取り組み、環境マネジメントシステムを事業活動の重要基盤の一つと定め、環境配慮型の工場に向けて全社員が自然環境を意識した活動を進め、地域社会にもやさしい生産工場運営を目指しています。

環境活動・社会貢献活動

- 直方工場、伊万里工場において、工場周辺の県道、市道付近の除草作業や投棄物（ビン・缶）の清掃作業を年2回行っています。清掃作業を行うことにより害虫の発生と不法投棄の抑制となっており、生活環境保全に取り組んでいます。また、全国（県民）交通安全運動期間中は、県道において交通安全立哨活動を行い、冬の運動期間中においては飲酒運転撲滅への署名活動を実施し所轄の警察署へ提出するなどして、従業員はもとより地域住民の方へ交通安全意識の向上に寄与しています。
- 伊万里工場において、空荷箱や空パレットを工場外周辺の置場に置いていたが、雨風による油流出のリスクをなくすため屋根付きの置場（3ヶ所、287m²）を社内製作しました。これにより容器に残る少量の油の流出をなくし、容器置場の確保に繋がりました。



▲工場周辺清掃活動



▲屋根付き空荷箱・空パレット置場の設置

環境負荷情報



株式会社フタバ平泉



住所：岩手県西磐井郡平泉町平泉字上徳沢65（本社、工場）

生産品目：マフラーおよびボデー部品



代表取締役社長
梅村 次彦

当社は世界文化遺産登録地の平泉町に、豊かな自然に囲まれた中で立地しています。省エネ・省資源・廃棄物削減などの環境保護に寄

与することを重点に、脈々と受け継がれた文化と景観を損なわぬよう、地域社会と調和し、社会貢献活動に取り組んでいきます。

環境活動・社会貢献活動

- 当社では、ステークホルダーの皆様とのかかわりを大切にするため、昨年度の創立記念イベントにて、初めて地域住民の方を工場見学へご招待しました。当日は、約200名近くの方々にご越しいただき、参加された方々に、フタバグループの事業活動をご理解いただきました。今後も、ボランティア活動や地域社会との交流など、社会貢献活動を進めていきます。



▲地域住民の方による工場見学

工場・グループ会社の取り組み

株式会社
フタバ平泉

●社会貢献活動の一環として、当社では、行政機関や岩手県内の高校生、中学生、小学生の工場見学を積極的に受け入れしています。
また、インターンシップの受け入れや、高校での就職ガイダンスへも積極的に参加し、学生への外部での生きた社会勉強活動に寄与しています。



▲小学生の工場見学の受け入れ

環境負荷情報



株式会社アピックス



住所：愛知県額田郡幸田町 大字須美字南山2-1 (本社、工場)
生産品目：自動車部品、金型製作、プレス加工並びに組付



代表取締役
小木曾 伸一

当社の本社・幸田工場は、自然豊かな幸田町の国道23号線幸田須美ICに隣接する工業団地に立地しています。幸田町は、しだれ桜まつり、本光寺紫陽花まつり、幸田彦左まつり等に代表される歴史や自然に由来する行事が盛んな

土地であり、私たちは、こうした環境や歴史を大切にすると地域行事に積極的に参加することで、地域とのコミュニケーションに努めています。

環境活動・社会貢献活動

●当社では、毎年工業団地周辺の町道、県道および幸田須美IC付近の道路清掃や除草作業を行っています。除草・清掃により、害虫などの発生を防ぐ生活環境保全や、枯れ草などに対する火災防止、繁茂した雑草地への不法投棄を誘発しない犯罪防止、地域住民の皆さんが安全に歩道を通行できる交通安全などに繋がる活動として取り組んでいます。3月には、地域貢献活動の一環として、近隣の小学校の新入学生のために文具の寄付を行っています。また、工場の照明をLED化したことにより、電気使用量削減に大きく貢献しています。



▲環境美化活動

環境負荷情報



お客様との関わり



当社のミッションである「成型技術と接合技術によるものづくりを通じて安心・安全で環境にやさしい商品をお客様に提供する。」の達成、また近年の新しい加工技術対応や信頼性向上のため品質向上活動に取り組んでいます。

品質保証本部長のメッセージ



品質保証責任者
品質保証本部長
篠田 典昌

ミッションの達成のため、また近年の新しい加工技術や信頼性向上のため IATF16949:2016 を認証取得しています。今後もTQM活動や品質保証システムの改善をプロセス重視で対応するように取り組んでいきます。FUTABA WAYである、知恵と改善、人間重視の2本柱を大切にしながら当事者意識を持って業務遂行できる人材育成を通し、全社機能一体となって品質保証度の向上に努めています。

IATF16949:2016全社認証取得



製造品質の向上

全社活動としてのTQM活動による業務品質改善や製造本部主体で品質管理活動確認会、技術本部・生技本部・品質保証本部での品質定例会などの活動を通して、お客様の期待にお応えできるよう日々活動を行っています。また、サプライヤーとの仕入先定例会を通して困りごとの共有、改善紹介を含め品質向上に努めています。



未然防止、節目管理の実施

品質保証の体制監査を含めた確認と、未然防止としての節目確認会を実施するとともに、品質部門連絡会、品質機能会議にて課題解決にあたっています。



▲製造本部 品質管理活動確認会



品質向上活動

フタバグループ全体の品質レベル向上のため、「品質機能会議」「QA点検」「品質管理活動確認会」などを行っています。

品質機能会議

各部署の品質向上への取り組みをトップに報告する月例会で、国内全工場が参加し、フタバの品質に対する方向性を迅速に決定すると共に、会社全体の意思統一を図っています。

QA点検

品質保証本部長が各工場に出向いて品質保証体制の総点検を実施し、指導を行います。年2回の点検を通して改善を行い、重要品質問題の未然防止に向け、体制作りと品質レベルの向上を目指しています。

グローバル展開

フタバの品質向上活動を国内・海外の各子会社にも展開し、毎月TV会議等で活動内容を確認しながら、グループ全体の品質レベルの向上を目指しています。

株主・投資家との関わり



ディスクロージャーポリシーを定め、株主・投資家の皆様に対し、適時、正確かつ公平な情報を提供することに努めます。

ディスクロージャーポリシー

当社では、投資判断に影響を与える決定事項、発生事項、決算に関する情報等が発生した場合の重要情報の開示については、金融商品取引法等の諸法令ならびに、東京証券取引所の定める規則に従ってディスクロージャーを行っています。

また、これらに該当しない場合でも、投資家の皆様の投資判断に影響を与えると思われる情報や当社を理解していただくために有用と考えられる情報については、当社独自の判断により自主的に開示していきます。

株主様とのコミュニケーション

株主様とのコミュニケーションを重要と考え、定時株主総会は交通の利便性を最優先させた会場で開催しています。定時株主総会での質疑応答は株主様とのコミュニケーションを行う貴重な時間として考えています。

また、技術展示会などに積極的に参加し、当社の取り組みについて株主様にご理解の場を設けています。



▲第105回定時株主総会

「人とくるまのテクノロジー展2019横浜」への出展

2019年5月22日(水)から5月24日(金)まで開催された「人とくるまのテクノロジー展2019横浜」に出展しました。今回の展示会には、624社が出展し、3日間で90,000名を超える来場者がありました。

当社の展示は、POWEREV®(排気熱回収器)、排気系部品、ボデー骨格部品、SCRなど、機能部品システム開発により、環境負荷低減・燃費向上・軽量化に貢献する製品を紹介し、多くの来場者にフタバの技術力をPRすることができました。



サプライヤーとの関わり



常にグローバルな視点で調達活動を行い、サプライヤーとともに成長・発展していきます。

2018年度方針を

- (1) 調達主導によるサプライヤー課題の明確化と体質改善活動の強化
- (2) 軽量化技術および新結合方法など新技術・新工法に追随し既存枠にとられない強固な調達基盤の再構築

とし、活動を推進してきました。

各サプライヤーへ災害事例紹介、職場点検を通じて安全啓蒙活動を推進し、安全を最優先する体質づくりを実施してきました。また、支援工場と共に重点サプライヤーの品質向上支援活動および教育(5なぜ教育等)を行い、サプライヤーの困りごとの吸い上げ等も実施しました。事業継承問題などサプライヤーが抱える新たな課題に対し、サプライヤーとの協議を行いながら諸施策を展開し、長期的視野に立ったパートナーシップを構築しています。

調達の基本方針

1 オープンでフェアな最適調達

- ・サプライヤー選定にあたっては、品質・原価・技術・納期面・SE力での期待値を明確にして、その達成成果を正しく評価します。
- ・新規売り込みに対しては、常にオープンにしており品質・原価・技術・納期に加え、経営状況・反社会性・環境への取り組みなどを総合的に公平に判断します。

評価

2 相互信頼に基づく継続的取引

- ・長期的な取引を前提とした相互協力の下、率直な双方向コミュニケーションを図り、相互繁栄を目指します。
- ・将来に向けて、当社・サプライヤー双方が競争力のある原価実力を確保するために、サプライヤーと協力して中期的な視野に立った原価低減活動とSE活動の強化に取り組みます。

原価低減

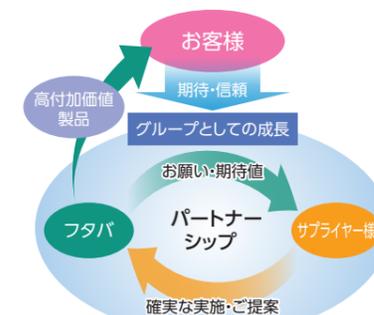
3 グローバル視点と地域最適調達のベストマッチ

- ・お客様が生産する場所での最適なもののづくりに貢献するために、また、新技術・新工法に対応するために、世界各地域で競争力のある調達基盤をつくります。
- ・現地サプライヤーを積極的に活用することで、地域社会に貢献します。

調達基盤

サプライヤーとの信頼関係の構築

毎年、サプライヤーとの連絡会を開催し、当社の全体の考え方、活動内容を各分野のサプライヤーに伝えていきます。一方的な情報伝達だけでなく、双方向のコミュニケーションを図りながら、情報の共有化を推進しています。『サプライヤーコミュニケーションルーム』では、①新5カ年計画 ②調達本部方針 ③お客様の情報 ④サプライヤーの品質状況他、当社よりサプライヤーに向けて、また、サプライヤー相互のコミュニケーションの場として積極的に様々な情報を発信しています。また、当社からサプライヤーに要望事項をご通知し、目標の共有化を図る期待値活動を展開しています。この活動により当社とサプライヤーが互いに切磋琢磨しグループの成長に繋がっていくことを目指しています。



グリーン調達、CSRへの取り組みなど

当社が製造・販売する製品等を構成する調達品について、環境マネジメントシステムを構築し、環境負荷低減活動を積極的に推進するサプライヤーから優先に調達できるよう取り組みを行っています。当社の環境方針をもとに、サプライヤーに対して、環境自主活動の推進として①法令の遵守 ②環境マネジメントシステムの構築 ③環境負荷低減活動の推進(物流に関わるCO₂排出量の低減、梱

包・包装資材の低減、環境パフォーマンスの向上)をお願いし、グリーン調達の実現に向け取り組んでいます。また、CSR(企業の社会的責任)への取り組みでは、『仕入先CSRガイドライン』を策定し、当社だけで取り組むのではなく、サプライヤーとの相互理解や信頼関係を築きながら、サプライヤーと共にCSRを重視した事業活動を推進しています。

従業員との関わり

従業員の人格、個性を尊重し、安全で働きやすい環境を確保するとともに従業員のゆとりと豊かさの実現に努めます。

安全第一の職場づくり

安心安全な職場づくりと、働く仲間一人ひとりが健康で充実した日々を送れるように、昨年度までの成果と反省を踏まえて、ゼロ災害職場づくりに向けて活動しています。主な活動は次の二つです。

一、労働災害を発生させない事

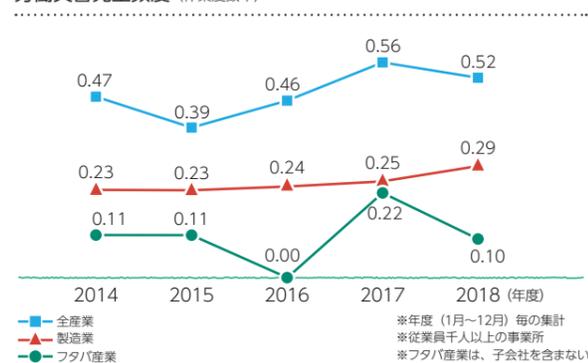
- ①災害リスクを知り、一人ひとりの安全感性を向上させる教育
- ②重大な災害リスクと人を遠ざける措置とそのリスクダウン活動
- ③一人ひとりの困りごとや不安を取り除くためのコミュニケーション活動

二、健康の維持増進と作業環境改善

- ①メタボや成人病の発症を防止する事を目的とした、適度な運動習慣を身に付けるきっかけとなる「からだいきいきキャンペーン」の実施
- ②タバコから卒業できる「卒煙キャンペーン」を昨年に引き続き実施
- ③熱中症発症「ゼロ」を目的とした、作業環境の維持又は改善を実施

これらの内容を掲載し、全従業員へ配布した「安全心得ハンドブック」を活用して正しく行動できる職場づくりに日々努めています。

労働災害発生頻度（休業度数率）



人材育成

ものづくりのプロを養成

ものづくりに強い人づくり、職場づくりや固有技能に卓越した匠の育成を目指し、2011年にものづくり研修センターを開設しました。

安全や品質に関する座学での集合教育や、体感コーナー

での体感教育、コア技術となるプレス、溶接に関する特別教育、各種技能競技会などを実施し、人材育成に努めています。



能力開発教育の実施

階層別教育

職種、職位で求められる知識・能力の向上に向け、新入社員研修をはじめとし、問題解決研修、マネジメント研修など、新入社員から幹部社員まで各階層に応じた研修を実施しています。



▲新入社員教育

機能別教育

グローバル人材育成を主眼とした語学選抜研修や異文化研修、ものづくりの基礎となるTPS教育や品質教育など、各機能に応じた専門性を重視した教育を実施しています。



▲プレス安全教育

職場別教育

各職場における現地現物でのOJT（職場内訓練）の推進および職場内教育を実施しています。



▲生産現場でのOJT

多様な人材の活用

採用

「問題解決力」、「行動力」、「チームワーク力」、「学び続ける力」を持ち、グローバルに活躍できる人材の採用を目指しています。

障がい者雇用

障がい者の自立と社会参加を支援するため、積極的な雇用に取り組んでいます。2018年度の雇用率は2.20%となり、法定雇用率を上回る雇用率に達しました。今後も障がい者雇用の拡充に努めていきます。

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
社員数	3,249人	3,300人	3,372人	3,421人	3,406人
(内 女性社員数)	286人	295人	314人	332人	358人
外国人社員数	17人	17人	17人	18人	19人
再雇用者数	86人	86人	94人	94人	110人
障がい者雇用率	2.37%	2.14%	2.30%	2.21%	2.20%

働きやすい職場づくり

年次有給休暇の取得促進

ワークライフバランス向上の取り組みとして、労働組合と共に年休の取得目標を年間16日と設定し、状況確認、取得促進活動を行っています。また、「リフレッシュ休暇制度」や「3日連続年休取得制度」を設け、更なる年休の取得促進に努めています。

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
1人当たり平均年休取得日数	15.3日	17.0日	17.0日	16.3日	16.9日

育児支援の取り組み

当社は従業員が育児と仕事を両立し、安心して働き続けることが出来る環境づくりに取り組んでいます。

主な育児支援制度

- ・育児休職制度（子が満2歳に達するまで）
- ・育児短時間勤務制度（子が小学4年を修了するまで）
- ・時間外労働の制限（子が小学校就学前まで）
- ・子の看護休暇（子1人につき5日/年、最大10日/年）

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
育児休職制度利用者数	46人	43人	44人	41人	60人
育児短時間勤務制度利用者数	27人	32人	28人	53人	54人

介護支援の取り組み

当社は介護休職制度（365日以内、取得回数3回まで）、介護短時間勤務制度（利用開始から3年間、取得回数制限なし）を設け、仕事と介護の両立に取り組んでいます。

地域社会との関わり

地域の皆様と、信頼の絆を築きたいとの思いのもと、地域社会との積極的なコミュニケーションを図りつつ、様々なご意見・ご指摘に応えることで、社会貢献活動をステップアップしたいと考えます。

フタバ産業旗争奪少年野球大会開催

当社の社会貢献活動の一環として、「第8回フタバ産業旗争奪少年野球大会」を開催しました。青少年の健全な育成と体力・技術の向上を主旨として2011年から継続しており、第8回となる今回は全31チーム、総勢441名が参加し、9月から2ヶ月にかけて熱戦が繰り広げられました。



▲少年野球大会



▲幹線道路ボランティア



▲ボランティアの会

岡崎市ボランティア清掃

岡崎市全域で清掃ボランティア活動が行われました。岡崎工場南側の県道56号線沿いでは本社・岡工・労働組合とフタバ野球部員を含め36名が参加し、約1時間かけて県道のゴミ拾いを行いました。また、前日に花火大会が開催された付近では、係長会の葵の会メンバー45名が会場のゴミ拾いを行いました。



鳥川ホテルまつりに協賛会社として初参加

岡崎市鳥川町で毎年行われる「鳥川ホテルまつり」に協賛会社として当社が初参加しました。

この取り組みは、地域支援を望む集落と企業とを岡崎市が繋ぐ初めての支援となります。交通誘導看板、交通誘導案内チラシを寄贈し、6月の開催期間中の各土日、交通誘導ボランティアとして参加し、鳥川ホテルまつりの運営に貢献しました。



▲鳥川ホテルまつり交通誘導ボランティア



フタバ野球部 天皇賜杯県東部大会初優勝

2019年6月、刈谷球場にて第74回天皇賜杯全日本軟式野球大会愛知県東部大会が開催されました。愛知県東部の強豪17チームが参加。フタバ野球部も出場し、厳しい戦いを勝ち抜き、決勝戦では延長戦の末、初優勝を果たしました。9月に長野県で行われる全国大会の出場権を獲得し、愛知県東部岡崎市の代表として全国制覇を目指します。



▲フタバ野球部優勝

CATV三河湾ネットワーク 「検索・ステキ企業～株アピックス～」放送

ケーブルテレビの三河湾ネットワークでエリア内の優れた技術を持った会社や魅力ある商品を世に送り出している会社を紹介する番組、「検索・ステキ企業」でアピックスが紹介されました。番組内では事業内容の紹介だけでなく、社員による仕事内容や会社の自慢コーナーもあり、15分の放送時間に凝縮されたアピックスの魅力が、蒲郡市、幸田町の視聴者へ届けられました。



▲アピックスTV取材

チェコ日本人会主催 ソフトボール大会

チェコ日本人会主催によるソフトボール大会が、プラハ野球場で開催されました。

当日は快晴に恵まれ、約400名のチェコ在住日本人が集まりました。FCZからは日本人出向者と家族に加え、ローカルスタッフも助っ人として参加し、盛況となりました。出向者夫人も出場し、和やかで楽しい一日となりました。



▲チェコソフトボール大会

地域の方の声



岡崎市北野学区総代会長 廣 恒朗 氏

私たちの町「北野学区」は岡崎市の北西部に位置し、北は豊田市、西は安城市に隣接しています。東西に延びる県道もほぼ完成し、今後ますます工場誘致も活発になり、地域との繋がりもさらに緊密になっていきます。

その中で御社は、三菱自動車、マルヤス工業と連携し、企業と地域の共存共栄を常に考え実践していただいていると思います。

昨年の大阪府北部地震で通学路のブロック塀が倒壊し、学童が犠牲となったことを受けて、岡崎工場はいち早くリスクの見直しを実施し、パレット置場を子供たちが安全に通学できるよう改善していただきました。しかしながら、まだまだ町民からの要望も多く、朝夕の通勤時の渋滞、町内の生活道路への通勤車両の進入、騒音等の課題がありますので、御社には地域企業のリーダーシップを取り、一つずつ対策していただきたいと思います。

朝の通勤時間帯の交通安全立哨等、地域として感謝するとともに、安全安心なまちづくりにも今後ますますのご協力をよろしくお願いいたします。